

令和元年度 第5回幼稚園等初任者研修報告

静岡県の公立幼稚園等の初任者が一堂に会し、8月26日に静岡県総合教育センターを会場に研修会が開催されました。

円滑な関係を構築するためのコミュニケーションの取り方や、幼児教育における特別支援教育の在り方について理解することを目標に行われました。



【講義】 「円滑な関係を構築するためのコミュニケーションの取り方」



静岡文化芸術大学 高木邦子 准教授

(研修生の声)

- ・ コミュニケーションの取り方で苦手さを感じていましたが、社会的スキルは経験値だということを学び、人との出会いを大切に、少しでも人間関係をうまく築いていけるようスキルを身につけていきたいです。
- ・ 職場で職員間の会話や気遣い等、とまどっていたことがあり、参考となりました。講義を聞いたり同期と話をしたりすることができよかったです。
- ・ 社会的スキルを高めるために、できることはさっそく明日からやってみようと思いました。

【講義】 「子ども・保護者の理解と対応について」



(研修生の声)

- ・ カレーパーティーに向けた保育の実践を聞く中で、改めて保育者の援助の重要性を感じました。見守りと声掛けのタイミングを工夫していきたいです。
- ・ 道具の出し方や声のかけ方次第で、子どもたちの表れがずいぶん変わっていくことを具体的に学ぶことができました。もっと聞きたくなりました。
- ・ 担任として5ヶ月が過ぎましたが、保護者との対応に難しさを感じている部分があります。園や子どもの成長を分かりやすく伝えるよう努め、理解を得るようにしていきたいです。

【講義・演習】 「幼稚園・認定こども園における特別支援教育の在り方」



(研修生の声)

- ・ 特別支援については、個別の支援が不可欠な子どもばかりに目がいきがちでしたが、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、クラスのどの子どもも分かりやすい、過ごしやすいクラス運営をしていきたいと思いました。
- ・ グループワークで、同じような困り感をもっている子どもへの対応について交流し、自分では思いつかなかった解決の手立てにも目を向けることができました。

今回の研修を通して

- ・ 今回の研修では、人との関わりについての講義や演習をとおして、よりよいコミュニケーションの取り方を学ぶことができました。子どもや保護者、職場の先生方に対しても、相手を認め共感しながら自分の思いを分かりやすく伝えていくことに心掛けていきたいです。
- ・ 幼稚園教諭として楽しくやっていくためにはコミュニケーションがとても大切だと思いました。今の職場の先生方はその力がとてもあり、そのおかげで楽しく過ごさせてもらっています。なので、自分が先輩になった時、後輩からそう思われるようになりたいです。
- ・ この職場は、特に人との関わりが多い仕事だと自覚しています。同僚や先輩、保護者、子どもたちと関わる中で、コミュニケーションをとることの重要性と大変さをとても感じてきました。言葉のやり取りの難しさや受け取り方の違いを目の当たりにしましたが、今日学んだことを生かし、自分のコミュニケーション力を磨いていこうと心に決めました。
- ・ 自分自身のコミュニケーションの取り方について整理し振り返ることができました。心のどこかに園になじめないかもという思いがありましたが、自分自身が壁を作ってしまったと気付きました。仕事以外でも職場の人とコミュニケーションをとり自己開示することで、円滑な関係を構築していきたいと思います。
- ・ 「私は初任者だから」と職場の中で静かに過ごしている自分がいましたが、次第に「話をしてみたい」「自分を知ってもらいたい」という思いをもつようになってきました。ただ、ベテランの先生方にはどのように話せばいいのかわからず困っていました。今回の研修で社会的スキルについて学び、コミュニケーションの取り方についてたくさんのヒントを得ることができました。今の自分にできる挨拶と笑顔にプラスすることで、円滑な関係をつくっていききたいです。